

平成28年度 サン・ワーク藤川事業報告

【施設種別】 障害者総合支援法による多機能型（通所）事業所

【利用定員】 生活介護事業 18名

【利用定員】 就労継続支援B型事業 12名

本年度は、共生社会実現の一環として、地域で暮らす利用者個々のニーズに沿った支援計画に基づき支援に取り組んだ結果、前年のように就労に繋がる利用者を生み出すことは叶わず、次年度への宿題として残してしまった。また、年度後半には病気死亡等による利用者減に見舞われるなど、余裕をもった財政運営とはならなかった。そんな中、B型事業にあっては初めて月額平均工賃が2万円に届くなど、若干ではあるが明るい部分も見いだすことが出来た。また、生活介護事業にあっては、生活の質を高める支援等を目的として、以下の事業を一体的に行うとともに、利用者が生き生きと安全に安心して日々の暮らしができるよう支援に努めた。なお、施設整備として防犯カメラ設置、主たる対象者は知的障害者とした。

1 事業の方針

「愛するものは愛される」の基本理念のもと「成長と可能性を信じて」をスローガンに、サン・ワーク藤川を利用する障害者が希望を持って通い、地域生活に必要な社会性を身につけ、働く喜びを感じ、就労や生産活動に従事できるよう、次の目標を掲げ支援に努めた。

- (1) あいさつがしっかりできること
- (2) 体力・持続力・忍耐力・協調性を養うこと
- (3) 社会人としての心構え、精神力を高めること
- (4) 社会人として必要な一般常識・礼儀作法・身だしなみ等生活能力を高めること
- (5) 作業活動、職場実習等により就労に必要な技能を高めること
- (6) 日中活動が、楽しく、生きがいのあるものとなるように、関係者全員努めること

2 事業内容ならびに支援内容

「就労継続支援B型事業」

一般企業に雇用されることが困難な方、雇用されていたが継続雇用が困難

となった方、就労移行支援によっても雇用に至らなかった方等に、生産活動の機会を提供し、就労に必要な知識、能力の向上のための訓練、支援を行なった。これら対象者に加え、50歳に達している方、障害基礎年金1級受給者の内、継続事業の対象者と思われる方も対象とした。

- (1) 生産活動は、パン・菓子の製造販売、農耕果樹作業、門松製作を主とし、個々の適性にそった作業活動とした。
- (2) 就労支援は、職能評価、就労準備訓練とした。
- (3) 工賃の支払いは、生産活動に従事した方に対し、事業収入から必要経費を控除した額に相当する工賃額とし、1人平均月額2万4百円ほどの金額となった。
- (4) 販路の拡大を図るため、行政等との協力体制をとった。

「生活介護事業」

地域生活において安定した生活を営むため、常時介護が必要な方に、食事、排泄等の生活支援、生産活動、創作的活動等を提供し、身体機能の維持向上、生活能力の向上に必要な支援を行うことに努めた。

- (1) 生活支援は、食事、排泄、身だしなみ、着脱衣、歩行等を行なった。
- (2) 生産活動は、農耕果樹作業、アルミ缶作業、ペットボトルキャップ選別作業を主とした。
- (3) 工賃の支払いは、生産活動に従事した方に対し、事業収入から必要経費を控除した額に相当する工賃額とし、1人平均月額2千5百円ほどの金額となった。
- (4) 創作的活動は、絵画、書道等を行なった。

3 営業日数および時間

- (1) 営業日は、月曜日から金曜日とした。但し、行事があるときは土曜日を営業する事もあった。
- (2) 営業時間は、午前9時から午後4時までとし実施した。

4 社会参加活動ならびに地域交流

障害者の社会生活が円滑に営まれるよう、個別支援計画に基づき、地域住民との交流や社会参加を通して、社会性を養うことに努めた。

- (1) 地域行事への参加、バザー参加
- (2) ボランティア活動（藤川松並木下草刈・清掃、豊臣公園清掃等）

5 保健衛生

- (1) 春・秋の嘱託医による定期健康診断を実施した。
- (2) 毎日の健康チェック、保護者、医療機関との連携を図った。

(3) 施設内の衛生管理

6 危機管理体制

大規模災害の発生に備え、サン・ワーク藤川の防災計画に基づき、各種訓練を実施するとともに、災害時の保護者との連絡体制強化に努めた。

7 苦情解決

苦情に対する窓口担当者を配置し、迅速かつ適切に対応した。

8 身体拘束

利用者の生命、身体保護のために緊急やむをえない場合を除き、身体的拘束、行動を制限する行為をしないように努めた。

9 虐待防止

利用者の人権擁護、虐待防止等の必要な体制の整備を行うとともに、職員研修を実施した。

10 職員の資質向上

(1) 職員の資質向上のための施設内研修や他機関で開催される各種研修等に参加

(2) 経営に関する施設内研修、工賃アップを図るための創意・工夫

(3) 愛知玉葉会法人研修参加

11 施設整備

防犯カメラの設置、ベイク冷凍庫の交換

12 諸会議

会議名	出席者	開催日
施設運営連絡会議	愛知玉葉会障害関係施設の係長以上の役職者対象	月1回
職員会議	全事業の常勤職員対象	月1回
ケース検討会議	サービス管理責任者と各事業職員等	月1回
利用者会議	全利用者対象	月1回

年間実施行事

平成28年度

月	行 事	保健衛生	その他
4	利用者交流会（1日） 避難訓練（18日）	往診（7日） 検便（20日、21日）	
5	社会見学（東三河ふるさと公園）（13日） 藤花荘ふれあいまつり（15日） 町民運動会（28日） 梅の収穫と漬込み（23日～31日）	往診・定期健診（12日）	春季休暇 （3日～6日）
6	梅の収穫・選別・漬込み（1日～7日）	往診（2日） 食中毒予防指導（6日）	
7	社会見学（豊橋市地下資源館）（8日）	往診（7日） 生活習慣病健診（22日）	
8	避難訓練（22日） 藤川町夏祭り（24日）	検便（9日、10日） 往診（18日）	夏季休暇 （13～15日）
9		往診（1日）	
10	社会見学（東山動物園）（7日） 門松製作（31日）	往診（6日）	
11	門松製作（1日～30日） 避難訓練（24日）	インフルエンザ予防接種（10日） 往診・定期健診（10日）	
12	門松製作（1日～29日）	往診（1日） 検便（14日、15日）	冬季休暇（29日～1月3日）
1	避難訓練（16日）	往診（19日）	
2	社会見学（赤塚山ぎょぎょランド）（3日） 保護者面談（1日～28日）	往診（23日）	
3	保護者面談（1日～31日）	往診（30日）	
その他	工賃支払（毎月25日） CGC活動 豊臣公園清掃 定期販売 岡崎市役所、ソニー、ロイヤルス スポーツクラブ（大平、上和田）、中 部電力	年2回血圧測定 検便（全職員・一部利用 者）	

I 職員状況

1、職員配置状況

平成29年3月31日現在

区分	管理者	サービス管理責任者	生活支援員	職業支援員	看護師	嘱託医	計
常勤	1	1	4	1			7
非常勤			6		1	1	8

II 利用者状況

1. 定員及び現員

平成29年3月31日現在

区分	定員	現員		計
		男	女	
就労継続B型	12	9	3	12
生活介護	18	11	7	18
計	30	20	10	30

2. 市町村別人員

平成29年3月31日現在

区分	岡崎市	刈谷市	西尾市	幸田町	あま市			計
就労継続B型	9		1	1	1			12
生活介護	14	2		2				18
計	23	2	1	3	1			30

3. 年齢別人員調べ

平成29年3月31日現在

区分	20歳未満	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳以上	計
就労継続B型		3	1	3		4	1	12
生活介護		10	5		1		2	18
計		13	6	3	1	4	3	30

4. 在籍年数

平成29年3月31日現在

区分	1年未満	1～2未満	2～3未満	3～5未満	5年以上	計
就労継続B型	2	1	1		8	12
生活介護		1	2	1	14	18
計	2	2	3	1	22	30

5. 入退所状況

平成29年3月31日現在

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
就労継続 B型	入所		1		1			
	退所							
生活介護	入所							
	退所	1						
区分		10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
就労継続 B型	入所	1						3
	退所						1	1
生活介護	入所							
	退所			1	1	1		4

6. 障害認定区分

平成29年3月31日現在

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	区分なし	計
就労継続B型		4	1	5	1		1	12
生活介護			2	6	7	3		18
計		4	3	11	8	3	1	30

7. 基本的生活状況調べ

(1) 食事

平成29年3月31日現在

区分	ほぼ自立	見守り	一部介助	要介助	全介助	計
就労継続B型	11	1				12
生活介護	10	4	4			18
計	21	5	4			30

(2) 排泄

平成29年3月31日現在

区 分	ほぼ自立	見守り	一部介助	要介助	全介助	計
就労継続B型	11		1			12
生活介護	10	2	2	4		18
計	21	2	3	4		30

8. 行動上の介護状況

平成29年3月31日現在

区 分	行動面にはほとんど問題が無い	行動面での問題に対し多少注意する程度	行動面での問題に対し注意したり時々指導がしたりする事が必要	多動、自傷等の行動があり、常時介助が必要	多動、自傷、拒食等の行動が顕著で常時の付き添い介助が必要	計
就労継続B型	4	6	1	1		12
生活介護		2	4	9	3	18
計	4	8	5	10	3	30

9. 保健面の介護状況

平成29年3月31日現在

区 分	身体的健康にはほとんど配慮を要しない	服薬等に対する配慮程度	発作が時々あり、あるいは周期的精神変調がある等のため、一時的又は時々の看護が必要	身体的健康に常に注意が必要。発作頻発の傾向	身体的健康に嚴重な看護が必要。生命維持の危険が常にある	計
就労継続B型	6	5	1			12
生活介護		11	4	3		18
計	6	16	5	3		30

10. 各種福祉手帳所持状況

平成29年3月31日現在

区 分	療育（愛護）手帳				障害者手帳						
	A度	B度	C度	計	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
就労継続B型	6	4	1	11		1	1				2
生活介護	15	2	1	18	3					1	4
計	21	6	2	29	3	1	1			1	6

* B型療育手帳所持なし1名あり

11. 身元引受人等状況

平成29年3月31日現在

区 分	父母	兄弟 姉妹	おじ おば	いとこ	その他	なし	計
就労継続B型	6	5			1		12
生活介護	16	2					18
計	22	7			1		30